

■ごあいさつ

皆様には日頃からファミリーハウス活動に対しご理解、ご支援を賜りまして心からお礼申し上げます。

この一年間、会員やボランティアの皆様をはじめ、多くの方々にご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

これからも患者さんや家族にとって金銭的な負担の軽減や不慣れた土地での治療という精神的な負担の軽



▲総会の様子

北海道ファミリーハウス
—NPO法人—
北海道ファミリーハウス通信

2017年7月20日発行/No.19

発行:NPO法人北海道ファミリーハウス
責任者:事務局長 大西 可奈
060-0807札幌市北区北7条西6丁目
TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162

第十回 通常総会ひらく

五月二十七日(土)

減のお役に立つよう運動を進めて参ります。

この一年間の活動を振り返りながら、頂戴したご意見などを次年度に生かして参りたいと考えております。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■第十回通常総会

五月二十七日(土)に「第十回通常総会」を開催しました。

総会では、二〇一六年度事業報告、収支決算および監査報告を行い、報告どおり承認されました。

引き続き、二〇一七年度事業計画・予算・役員について審議の結果、提案どおり決定されました。

二〇一七年度事業・活動計画

一・事業実施の方針

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族）を経済的並びに精神的に支援する活動を行なっていきます。

二・特定非営利活動に係る事業

(一) 援助及び支援活動

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族）を支援するために、病院の隣接地区

にあるファミリーハウス（賃貸住宅や宿泊施設等）の情報を提供し、ニーズに合わせ円滑な利用が図れるよう活動を行なっていきます。

○ホテル利用者の割合が高くなる傾向にあることから、登録ホテルの充実を図ります。

○子どもの笑顔づくりの活動として、他団体との連携・支援を行います。

○治療に専念する子どもたちの希望につながる活動として、「そらぷちキッズキャンプ」を支援します。

(二) ファミリーハウスの設置及び運営

滞在施設を独自に開設し、運営できるように活動を強化していきます。また、

道内の医療機関から紹介を受けて、道外の高度専門医療機関で治療を受ける患者家族に対しても、その地域のファミリーハウス紹介などの支援を行います。

(三) 道民に理解を求める広報

インターネットを中心にしながら、あらゆる広報媒体を使って、入院治療を受ける患者と小児がん等難病の子どもたち及びその家族の現状についてPRする活動を行います。

平成28年度
ファミリーハウス
利用実績

ホテル利用：4,704日
オーナー物件：365日
(H28.4.1～H29.3.31)

2017年度役員

- 理事長 南谷 晴之 (再任)
- 副理事長 神戸 智子 (再任)
- 理事 事務局長 大西 可奈 (再任)
- 理事 島山 茂房 (再任)
- 理事 加藤 弦 (再任)
- 理事 塩谷えり子 (再任)
- 理事 新山 久美 (再任)
- 理事 小林 敬 (再任)
- 理事 川原 直行 (再任)
- 理事 松澤 優樹 (再任)
- 理事 高橋 誠 (再任)
- 監事 中村 真一 (再任)

平成28年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位：円)

科目	金額	備考
I.収入の部		
1.会費収入	81,000	個人・法人
2.賛助金収入	2,293,000	個人・法人
3.助成金収入	150,000	札幌信金様・共同募金会様
4.寄付金収入	77,500	我汝会様・ランナーズサポート北海道様
5.事業収入	0	
6.雑収入	190	利息
当期収入合計(A)	2,601,690	
II.支出の部		
1.事業費	1,605,160	
(1) 援助及び支援活動	1,041,621	交通費、行事費、そらぶち支援など
(2) ファミリーハウスの設置及び運営	278,669	ガイドブック、ホテルパンフ印刷
(3) 道民に理解を求める広報	284,870	FHパンフ、FH通信
2.管理費	567,559	
当期支出合計(B)	2,172,719	
当期収支差額(A)-(B)	428,971	次期繰越額

その他事業 なし

平成29年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位：円)

科目	金額	備考
I.収入の部		
1.会費収入	100,000	個人・法人
2.賛助金収入	2,200,000	個人・法人
3.助成金収入	150,000	
4.寄付金収入	0	
5.事業収入	0	
6.雑収入	0	
当期収入合計(A)	2,450,000	
II.支出の部		
1.事業費	1,740,000	
(1) 援助及び支援活動	1,100,000	交通費、行事費、そらぶち支援など
(2) ファミリーハウスの設置及び運営	300,000	ガイドブック見直し、未就学児利用料補助
(3) 道民に理解を求める広報	340,000	FH通信、ホームページ管理、感謝状贈呈
2.管理費	710,000	
当期支出合計(B)	2,450,000	
当期収支差額(A)-(B)	0	

その他事業 なし

会員口数 (H28.3.31現在)

正会員：63口	賛助会員：2,253口	法人会員：4口
---------	-------------	---------

2016年度 助成金・ご寄付

ファミリーハウス運動に対し、各方面から多大なご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

■助成金(敬称略)
 北海道共同募金会 …… 十万円
 札幌信用金庫社会福祉基金 …… 五万円

■ご寄付(敬称略)
 我汝会さっぽろ病院 …… 一万円
 ランナーズサポート北海道 …… 六七、五〇〇円

二〇一六年度 事業報告

一・特定非営利活動に関する事業

(一) 援助および支援活動
 ①入院して治療を受けている子どもたちの笑顔づくりの活動として、病院内で劇団風の子による「ぴーぷー劇場」を上演し、子どもと家族を招待しました。またクリスマスにはツリーに飾る木製のオーナメントをプレゼントしました。



「ぴーぷー劇場」(上)とクリスマスプレゼント(左)

(二) 道民に理解を求める広報活動
 あらゆる広報媒体を通じて、道民に広くPRする活動を行いました。

- ① ホームページやガイドブックを活用し、活動内容と施設情報を提供しました。
- ② パンフレットを活用し、活動内容のPRを行いました。
- ③ PRチラシを各種イベントや病院などで配布しました。
- ④ 「NPOファミリーハウス通信」を発行(二〇〇〇部×二回)し、活動の状況などを紹介して運動への理解と支援に結びつける取り組みをしました。

感謝状進呈

特定非営利活動法人北海道ファミリーハウスは、二〇〇七年四月に法人格を取得し、本年一〇年を迎えました。この間、多くのオーナー、ホテル、企業・団体ならびにボランティアの皆様のご支援に支えられてきました。とりわけ企業・団体の皆様には継続的に物心両面にわたる多くのご支援をいただき、当会活動の基盤安定化に大きく寄与しています。そこで過去五年間にわたり継続してご支援いただいている次の企業・団体に感謝状を贈呈しました。

- ・ 社会福祉法人 北海道共同募金会
- ・ 一般財団法人 札幌信用金庫社会福祉基金
- ・ 医療法人社団 我汝会さっぽろ病院
- ・ 北海道電力関連産業労働組合総連合(右写真)
- ・ ほくでん情報テクノロジー株式会社 (敬称略)

